

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	東京工業大学	整理番号	H - 3
拠点のプログラム名称	世界の持続的発展を支える革新的原子力		
中核となる専攻等名	理工学研究科原子核工学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 関本 博 外15名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>エネルギー資源枯渇問題や地球環境問題を解決して世界の持続的発展を支えるためには原子力が不可欠である。しかし原子力は核拡散・放射性廃棄物・安全の問題を抱えている。従来これらは場当たりに個別に検討されてきたため、十分な解決がなされず原子力が先の目的を達成するには程遠い状況にある。本研究拠点では自由な発想と全体を見通す目を持って、革新型原子炉（利用システムを含む）及び 高レベル廃棄物消滅を指向した革新的分離核変換に関してシステム概念構築とそれに必要な基盤技術研究を行うことにより、この解決を図る。今まさに先進各国もこの問題の重要性に気付き、国際協力の機運が高まっている。本研究拠点はこの問題研究の世界の拠点になるだけの実績を積んできており、この役目を担おうとするものである。研究のターゲットは次世代にあり、若手研究者の育成が不可欠である。真の研究者を育成するため研究と教育が一体になった運営を行うとともに、国際性を身に付けた若手研究者を育成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>原子力エネルギー開発は、チェルノブイリ事故以来社会不安を招き停滞した状況にある。我が国においても不祥事が重なり計画通りの開発が困難となっている。省エネルギー努力や代替エネルギーの開発により当面の需給は満たされる見通しであるが、将来原子力がエネルギー源の重要な柱の一つであることに変わりはない。このような状況において、21世紀の社会に受け入れられる原子力利用を構想し、国際的にも活躍できる人材を養成するCOEが必要である。優れた実績を持つ貴学における世界的な研究拠点の形成に期待する。</p>			